

第1学期終業式 [7月20日]

1学期の朝礼を行うたびにいつも言ってきましたが、6年生や5年生の話聞く姿勢は本当にすばらしい。高学年のそういった態度で学校は締まります。1・2年生も4月から体だけでなく心もずいぶん成長しました。そしてその間に挟まれた3・4年生はいろいろなことに前向きに挑戦し、頑張ってきました。

4月の始業式には桜が咲き、やっと暖かくなってきた春の風を肌で感じていました。季節は春から夏へと移り変わり、今日も30度を超えるととても暑い日となりそうです。始業式の日、皆さんに「一人一人がどんながんばりを見せてくれるかとても楽しみにしています。私は、どんなことにも一生懸命な子が大好きです。そして自分のことだけでなく、まわりの友達のために何かができる子はもっと好きです」という話をしました。また、白鳥小学校を「元気いっぱい・笑顔いっぱい・やる気いっぱい」の学校にしたいという話もしました。あれから3か月半が過ぎましたが、皆さんどうですか。このめあては達成できたでしょうか。

4月のスタートで「位置について」のときはみんな同じところに並んで立っていたはずなのに、「用意、ドン」と走り出してから、ここまでずいぶん差がついたような気がします。あいさつがしっかりできた子、静かに話が聞けた子、掃除を一生懸命にした子、友達と仲良くできた子、そういった毎日の生活で頑張った子がたくさんいました。逆にこの1学期、ちょっと頑張りが足りなかったなあと思う子は、ぜひ2学期挽回してください。

そのためにも明日から始まる夏休みは大切です。42日間という長いようですが、意外と早く過ぎてしまいます。自分でやることをきちんと決めて、それを毎日実行できるように頑張ってください。

今年の夏休みには、ブラジルのリオデジャネイロというところで4年に一度のオリンピックが開かれます。知っている人もいるかと思いますが、日本選手団の吉田沙保里主将（レスリング）は、「勇気、希望、感動を届けたい」と語っています。私はテレビで競技の様子を見るのをとても楽しみにしています。きっと得られるものがあるのではないかと思います。

さて、明日からの夏休み、皆さんに一番お願いしたいのは、元気で健康に過ごすことです。病気をしない、けがをしない、事故にあわない、ここにいる全員がそろって笑顔で2学期をむかえたいと願っています。一つしかない命を大切に毎日過ごしてください。